

インターネット上の発言が映画の興行成績に与える影響の分析

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 経営・政策科学専攻
学位論文審査委員会提出 修士(ビジネス)論文

平成 20 年 1 月 25 日

200620871

高橋 和氣

論文指導教員

石井 健一

論文要旨

本研究の目的は、インターネット掲示板の初期の発言量や内容が、映画の興行成績に与える影響を分析することにある。研究としては「影響の分析」まで到達できなかったが、以下の2つの結果を得ることが出来た。第一に、映画に対するインターネット掲示板の発言量や否定的な評判は映画の興行成績の予測力を持つことがわかった。また、第2に、映画が持つジャンルの違いによっても、インターネット発言が興行成績と密接な関係を持つことがわかり、子供や年配を対象とした映画、また、男性を対象とした映画は、そうでないものより発言との関係は薄いことがわかった。こうした結果を受けて、インターネットの発言を分析することは、映画の興行成績を予測することなどに役立ち、日本における映画の興行活動を支援できると期待している。また、こうした結果をふまえることで、将来的に、研究の主目的であった「影響の分析」に繋げることが出来ると考えている。

目次

1. 研究目的	
1-1. 研究の背景	01
1-2. 映画産業に関する先行研究	04
1-3. 研究目的と仮説の設定	06
2. 研究方法	
2-1. 分析対象	09
2-2. 指標について	09
2-3. 発言の肯定/否定指標について	11
3. 分析結果	
3-1. 各指標の概況と独立変数	15
3-2. 仮説の検証	16
3-3. 映画掲示板における話題の分析	24
4. 考察	
4-1. 先行研究との比較	27
4-2. 本研究の意義	28
4-3. 結論	29
4-4. 課題点	29
参考文献	31
謝辞	32
付録	33